

平成28年度 21世紀土地改良区創造運動さなえ賞

都道府県名	秋田	水土里ネット名	せんなん あきたけんせんなんとかいりょうく 仙南（秋田県仙南土地改良区）
水土里ネットの概要			
受益面積：1,206 ha（水田 1,206 ha） 組合員数：644 名 役職員数：役員 15 名、職員 2 名			
水土里ネットにおける運動の概要			
・運動への取り組みの経緯、きっかけ 当土地改良区は美郷町、旧仙南村に跨る受益面積1,206haで、主な施設としてダム1箇所、溜池20箇所、頭首工3箇所を維持管理している。運動へのきっかけは、「水の町」である美郷町において町内の小学生4年生を対象に水環境学習会を数年前から実施しているが、元々仙南村にあった小学校3校が平成25年に統合となり、新たに仙南小としてスタートしたのを機に、平成26年から隣の水土里ネット南旭川と合同で水たんけん学習会として、水の大切さや農業施設の重要性について、水利施設巡りを通じて子供たちに呼びかけてきた。			
・運動の概要 普段口にしていない美味しいお米を作るには何が必要か？子供たちは学校の学習の中でその答えが豊かな水であると知り、この施設巡りはその正体である水がどこから来るのかを探るためのたんけん学習である。その中でダムや頭首工の役割や水を運ぶための技術、田んぼに水が入るまでに多くの人たちの努力によって米作りができるということを学んでいただいた。答えが分かった後には、その水で育てたお米や野菜を使ったカレーを一緒になって食べたが、美味しく食べる子供たちの顔が今でも忘れられない。そんな未来の宝である子供たちに少しでも農業に関心をもってもらい、また、お米のおいしさを感じてもらうことで将来の後継者育成、自給率の向上に繋がればと願いながら継続して活動していきたい。			
さなえ賞受賞理由			
同水土里ネットは地元小学校の統合を契機に運動の取組をスタートしたが、子供たちを対象にした運動は、地域住民に対する水土里ネットの役割や農業農村の多面的機能などの理解の醸成にも繋がり、少しずつではあるが広がりをみせている。隣接する水土里ネットとの連携により今後の活動に対する継続性も期待でき、役職員間にも運動推進に向けた意識が高まってきている。 水たんけん学習会は、身の丈にあった無理のない運動として、地区内外に向けて理解が得られて来ており、今後の取組体制や連携の広がり、運動の発展性などが期待できる地区である。			

都道府県名	秋田	水土里ネット名	水土里ネット仙南
-------	----	---------	----------



ダムの役割など真剣にメモ



大きな大松川ダムを見学



頭首工の原理にびっくり！！
(水土里ネット南旭川：上堰頭首工)



金沢ダムにて記念写真



この水で育てたお米や野菜を使った
カレー。おかわり続出！



冷たいアイスに今日一番の笑顔！